



校長室より No.25

～ We love 篠南 ～



□ 「読書の秋」

今、読書週間中です。読書週間の始まりは、1924年（大正13年）、前年の関東大震災によって新旧の膨大な量の出版物や多くの書物が消失してしまったことが発端でした。戦争の影響でいったん廃止となりますが、戦後、1947年（昭和22年）に、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」という決意のもと、出版社、取次会社、書店、公共図書館、新聞・放送のマスコミ機関も加わり、11月17日から一週間、第1回「読書週間」が開催されました。反響は素晴らしく、「一週間では惜しい」「もっと本に触れ合う期間が必要だ」といった意見が多く寄せられ、翌年の1948年（昭和23年）から、文化の日を中心にした10月27日～11月9日という日程が読書週間となり、全国に広がっていきました。そして、読書週間は日本の国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民の国」になりました。

学校では年間を通して毎朝10分間の朝読書をしています。本を読むことで言葉を知り、知識を得、想像力や忍耐力、集中力が向上し、何より読解力が養われます。「読解力」はすべての学習の基盤になる大切な力です。

□ 時間がある時は本

読書をしてマイナスになることは何もありません。

「時間がある時は本を開く」くらい習慣になればいいのですが・・・。

「時間がある時はゲーム、You Tube」になっているのかもしれませんが。

前期学校評価においても、『家庭読書の定着』は、小中ともに低い評価になっています。「読書は朝読書の10分だけ」ということにならないように、ぜひ、この機会に本に親しみ、読書の習慣を身に付けてほしいと思います。



□ 「鬼に負けるな！」

『全校遊び』の日は必ず、6年の植松奏多くんが、「校長先生、鬼お願いします」「校長先生が玄関を出た瞬間からスタートです」と誘いに来ます。キャーキャー言いながら逃げる子どもたちを捕まえに行くわけですが、比較的簡単に捕まえることができます。もちろん、大人と小学生なので当然のことかもしれませんが、できれば高学年は55歳に捕まらないようになってほしいです。郡陸上大会で、3年の中山心春さんが入賞しましたが、55歳に捕まらない子どもが増えると、郡大会の成績も良くなっていくのではないのでしょうか。近い将来リレーで入賞、いや県大会出場を目標に、これから鬼ごっこで、楽しみながら、走力を高めていきたいと思います。



□ 「♪PTAも大合唱♪」

今年の文化祭でPTA合唱を披露することになり、とても嬉しく思います。ふるさと篠南で、夢や志をもって一生懸命学び続ける子どもたちへ贈る応援ソングになればと思います。参加を希望される方は、別紙参加申込書に必要事項を御記入の上、学級担任まで御提出ください。多数の参加を心よりお待ちしております。